

2021年度 施設内評価

■実施期間…2022年3月24日～3月28日

■実施方法…用紙を保育士に配布し、記入後回収

■回答数……16件

*各設問に対し、できている 5点 どちらかといえばできている 4点

どちらともいえない・わからない 3点 やや不十分 2点 不十分 1点として平均点を算出

	平均
1 園の保育理念をしっかりと理解できていますか	3.9
2 子ども一人一人のありのままの姿を受け入れようとしていますか	4.4
3 子どもを一つの人格を持った存在として尊重し、ひとりひとり大切に接していますか	4.4
4 子どもが安心して自分を委ねられる存在となるよう心掛けていますか	4.3
5 子ども一人一人の発達状況と置かれた事情を理解し、保育を行うようにしていますか	4.1
6 保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか	4.4
7 子どもに分かりやすい言葉使いで、穏やかに話をしていますか	4.3
8 自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか	4.3
9 子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行っていますか	4.5
10 子どもの様子を観察し、毎日のマッサージを丁寧に行っていますか	4.1
11 保育士の言動ひとつひとつを子どもはモデルとして学んでいることを知り、気を付けて言動を行っていますか	4.2
12 毎日の活動の中で自然と歌を口ずさんでいますか	3.6
13 毎日の活動の中で絵本と親しんでいますか	4.3
14 笑顔や気持ちの良い言葉がけを心掛けていますか	4.3
15 「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか	4.0
16 連絡ノートでは、園での子どもの様子や気持ちを丁寧に伝えるようにしていますか	4.3
17 子どもの健康状態を日々把握し、保育をしていますか	4.6
18 子どもが危険な場所や遊びが分かり、安全に気を付けて行動するよう働きかけていますか	4.5
19 目標を持ち保育を行い、保育計画が適切であったか振り返り、改善をしていますか	3.9
20 個人情報保護を理解し、適切に行っていますか	4.6
総合	4.5

1. こどもが安心して身を委ねられる存在となるように、どのような配慮を行いましたか

情報

- ・ひとりひとりの健康状態、情緒面を把握し、それぞれに応じた声掛け、援助を行う。
- ・子どもの様子を見ながら、ひとりひとり声掛けをしたり、抱っこしたりして安心し、信頼関係を築けるよう配慮している。
- ・保護者と密に連絡を取る

遊び

- ・遊びにはとことん付き合う。
- ・遊びに進んで参加する。
- ・大人が楽しくしていると子ども達も興味を持ってくれるので、まずは楽しんでいるところを見せています。

発信

- ・ある程度のごことは許し、いけないことはしっかりと伝える。
- ・優しいことばづかい。
- ・たくさんスキンシップを取り、安心感を持ってもらえるよう、優しい声掛けを行っている。
- ・気持ちを伝えあい、分かりあうよう努めている。

聞く

- ・子どもと同じ目の高さになるよう腰を落とし、目を見てしっかり話を聞く。
- ・きちんと目を見て話を聞く。
- ・子どもの声にしっかり耳を傾け、ひとりひとりと向き合う。

自分を整える

- ・自分自身が安定した生活を心掛け、子どもを受け入れられる状態をつくる
- ・時間にゆとりをもって保育を行い、常に子どもの声に耳を傾ける。
- ・ゆったりした気持ちで、子どもが安心できるように笑顔、優しい言葉使いに気を付けている。

受容

- ・一人ひとりの存在を認める。
- ・そのままの姿を受け入れる。
- ・気持ちを受け止める。
- ・ひとりひとりの気持ちを受け止め、声掛けや表情（笑顔）で安心感が持てるよう意識する。
- ・共に感じ、共に喜び、同じ気持ちを共有していく。
- ・皆育った環境は違うけれど、違いを認めながら触れ合い、笑顔を引き出すように心掛けた。

2. 食の意欲が少ない子への対応の工夫

量の調節

- ・量を減らし、食べれる量からスタートする
- ・量を加減したり、声掛けの工夫をする。
- ・食べきれ的分だけ食べられるように分ける。
- ・最初から量を減らしておき、「食べきった」という達成感を味わえるようにする。
- ・無理はさせず、食べれる分だけは食べるようにする。
- ・少しづつ無理なく食べれるよう配慮する

食材の大きさ

- ・苦手なものは減らしたり、細かく切って食べやすくしている。
- ・咀嚼力の弱い子は食材を小さくする。

楽しい雰囲気

- ・おいしいね！おいしいよ！と共感しあう。
- ・メニューに応じて量を調節したり、「おいしいよ」などの声掛けで、食べやすい環境作りを心掛けている。
- ・美味しそうに食べたり、たくさんおかわりしたりして、意欲につなげる。
- ・自分で食べる量を決めたり、おかわりは自分でつぐようにしたり、残ったごはんはおにぎりにしたりして、食べる楽しさや喜びを感じられるようにする。
- ・隣の子がおいしそうに食べている様子を伝えたり、「おいしいよ」など声を掛けていく。
- ・苦手なものはひと口でも大丈夫ということを伝え、楽しく食べられるように心掛けました。
- ・苦手なものを食べようとする子には、一緒に食べてみよう！と口に運ぶこともありました。
- ・友達のおいしく食べている姿を見て「食べてみよう」と思う気持ちが芽生えるようにしたり、食べる順番を変えたりと試行錯誤しました。
- ・ともだちが意欲的に楽しそうに食べている姿を間近に感じられるようにし、大人も美味しそうに食べたり、たくさんおかわりしたりして、意欲につなげる。

褒める

- ・食べきったら褒めたおす
- ・苦手なものを自分から食べれた子にはたくさん褒めて、自己肯定感を高くできるよう心掛けた。

午前中の活動

- ・外遊びや散歩等、体をできるだけ動かしおなかをすかせ、食べたいと思えるようにする。
- ・午前中の活動量を保障し、おなかがすいた！給食を食べたい！という感覚を大切にする。
- ・「おいしいね」などの声掛けをしたり、おなかが減って食べる意欲が持てるよう身体をたくさん動かすようにしています。
- ・身体を動かすことを心掛け、自然とおなかがすくように心掛けました。
- ・活動を保障し、食べれる身体作りを心掛ける

家庭との連携

- ・家庭ではどんなものが好きなのか、なにが苦手なのかを聞いたり、給食の様子を伝えたりした。
- ・活動量や家での様子なども気にかける。
- ・家での食事の様子を聞いて、その子の食べれる量や苦手なものを把握するようしていました。
- ・家での間食を減らしてもらおうなど、ご家庭と連携を取る。

1年間のふりかえり（できたこと、気を付けたこと）

職員・保護者間

- ・その日の健康状態、ひとりひとりの発達状況など、細かいところまで職員間で伝えあい保育につなげていくことで一人一人の成長はもちろん、クラス全体としても大きな成長を感じた。
- ・クラスで常に情報共有することで子どもへの理解も深まり、対応も統一でき、子ども達の成長を共に喜びあえた。
- ・保護者さんとの関わりを密にし、子どもの成長と一緒に喜ぶことができた。
- ・基本の生活リズム、食事について保護者さんに知らせたり、日々の子どもの様子を伝え、保護者の方々もできる限り改善して下さった。子ども達も活発に、よく食べるようになった。

活動内容・身体作り

- ・歌、手遊びは季節ごとに楽しく生活できるよう心掛けた。
- ・身体作りのため、根気強く散歩の中で坂のぼり、階段上りをおこなった。
- ・歩く、走る、登る、渡る、川など様々な経験ができる散歩コースへ出掛け、体力や挑戦する力がついた。

自主性・自発性

- ・自分で考え、自発的に行えるように、要点はしっかり伝え、必要以上の声掛けは控えた。
- ・子ども達が自分で考えて行動できるような声掛けや、じっくり待つことを心掛けた。
- ・自分でできることと、手伝いが必要なことの見極め。

関わり方

- ・ひとりひとりとの信頼関係を築くこと、子どものありのままを受け入れて、楽しく過ごせるように声を掛け、見守りました。
- ・子どもの言葉やちょっとした成長に目を向けていくようにした。
- ・子どもが気持ちよく心地よく過ごせるように心掛けた
- ・子どもに信頼され仲良くなれるように、ひとりひとりに丁寧に向かい合った。
- ・ひとりひとりの気持ちによりそい、発達に応じた援助をすること。

やりたかったけれど十分できなかったこと

マッサージ

- ・マッサージ（時間をうまく使えなかった）
- ・戸外遊びや散歩などのメインとなる活動と、マッサージにかかる時間配分が難しく、マッサージを毎朝時間をかけて行うことができなかった。
- ・毎日短時間基本的なマッサージをやったが、十分にできてはいなかった。
- ・ロールマットを使ったマッサージ

お絵描き

- ・なかなか絵を描く時間をつくれなかった。
- ・毎日のお絵描き。
- ・絵を描く時間がなかなか取れなかった。

関わり方

- ・こどもがわーっと怒ったときに、常に冷静な対応はできなかった。
自分の客観視ができていなかった。
- ・ひとりひとりに丁寧に関わる。
- ・気持ちのゆとりを持つ。

その他

- ・室内遊びの工夫
- ・登山にもっと行きたかった。×3
- ・リズム（自分自身が十分に分かっていないところもあり、子ども達に教えるのが不十分）×2
- ・こどもの発達の違いも大きく、一人一人が充実した毎日を送れたかは、十分でないと感じる。
- ・園周辺の山道の開拓。たくさん探して足腰強化につなげたい。
- ・本を読んで知識を付けることが不十分だった。

次年度特に取り組みたいこと

身体作り

- ・マッサージやリズム、あそびや散歩などで身体作り。
- ・十分な身体作り。
- ・朝の受け入れの時間にマッサージできる時間をつくり、活動する時間を増やしていきたい。
- ・ロールマット
- ・毎日のマッサージ・手押し車・両性ハイの徹底
- ・リズムの学年に応じた要求やひとりひとりに応じた介助
- ・日頃の保育でさらに体力を付け、たくさん登山に出掛ける。

子どもとも関わり

- ・子ども達と信頼関係を築き、一緒にリズムや季節の歌等楽しく取り組みたい。
- ・歌がたくさんクラスにしたい。
- ・子どもが心地よく過ごせるよう心掛ける。
- ・新しいことも取り入れ、子どもが「楽しかった」と思える生活。
- ・ゆとりをもって生活し、ひとりひとりのペースでステップUPできるよう園生活を充実させる。
- ・保育を見直し、より丁寧にごどもと向き合う。

自身の学び

- ・ピアノ
- ・リズムをたくさん覚えたい。
- ・歌を覚える。
- ・手遊びをたくさん身に付ける。
- ・発達障害の子や気になる子の対応について学び、実践したい。
- ・リズムや歌を覚える。

絶対評価ではなくあくまで自分の振り返りのための自己評価のため、向上心が高いと点数が低くなる傾向があり、点数自体にはあまり意味はないものであると踏まえた上で、基本的な事項である「個人情報の保護」「健康状態の把握」といったものが相対的に点数が高く評価されていた。

また、もっとも点数が低かったものは「活動の中で自然と歌を口ずさんでいますか」であり、次年度取り組みたいことにも、歌を覚える、手遊びをたくさん身に付ける、などがあった。

子どもへの配慮、食事の工夫など記述式のものでは、多面的に子ども達を見つめ、様々な角度から工夫を行っている点もよく分かる。

日々状況も変わり、正解がない保育の中で、様々な方法を試行錯誤し、子どもを真ん中に、子どもの中から湧き上がる意欲を大切に保育をこれからも行っていこうと再確認した。